

平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 拓治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 長縄 明彦
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 03-3504-1498

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	5,054	△6.3	115	—	147	—	173	—
21年9月期第1四半期	5,394	—	△14	—	△184	—	△271	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	23.58	—
21年9月期第1四半期	△39.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	15,160	5,835	38.1	417.71
21年9月期	13,255	2,629	19.4	375.62

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 5,782百万円 21年9月期 2,570百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	10,050	△5.4	8	△81.0	8	—	8	—	1.17
通期	20,100	△4.8	117	12.5	92	—	27	—	3.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	13,869,200株	21年9月期	6,869,200株
---------------------	-------------	-------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	24,920株	21年9月期	24,650株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第1四半期	7,376,989株	21年9月期第1四半期	6,845,290株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日までの3ヶ月間）における当社グループを取り巻く経営環境は、国内景気の一部に景気低迷からの回復の兆しが見られたものの、雇用情勢・所得環境の悪化が続いており、厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境におきまして、当社は、平成21年12月25日払込期日として、UCC上島珈琲株式会社を割当先とした第三者割当による募集株式（7,000,000株）の発行を行い、30億10百万円の増資を実施いたしました。

業績につきましては、新体制のもとで「コーヒー関連事業」に事業の集中化を図ることとし、「飲食関連事業」や「コーヒー関連以外の仕入商材販売事業」など周辺事業の整理・縮小を進めることいたしました。

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの他、業務用コーヒー、家庭用コーヒーの分野におきまして新規取引先の開拓と既存取引先の深耕化を推進いたしました。景気悪化の影響を受け、主力の缶コーヒー・チルドカップコーヒー向けの工業用コーヒーと外食チェーン店・オフィスコーヒー向けの業務用コーヒーの売上高が減少いたしました。家庭用コーヒーとコーヒー及びコーヒー加工品、エキス商品等の売上高が増加した結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は42億81百万円（前年同四半期比1.7%増）、その営業利益は83百万円（前年同四半期の営業利益は△1百万円）となりました。

「飲食関連事業」につきましては、当グループは連結子会社の株式会社インスタメディア社を通しての事業であり、不採算店舗の閉鎖により、当第1四半期連結会計期間の売上高は5億3百万円（前年同四半期比3.2%減）、その営業利益は20百万円（前年同四半期の営業利益は△23百万円）となりました。

「コーヒー関連以外の仕入商材販売事業」につきましては、食品スーパーマーケットへ食品などの仕入商材を販売する事業であり、販売対象の店舗が減少した結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は2億25百万円（前年同四半期比64.0%減）、その営業利益は0百万円（前年同四半期比83.7%減）となりました。

「その他の事業」につきましては、当社グループは連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、パルプモールド製品の製造・販売を行っており、当第1四半期連結会計期間の売上高は44百万円（前年同四半期比20.9%増）、その営業利益は11百万円（前年同四半期比152.3%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は50億54百万円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益は1億15百万円（前年同四半期の営業利益は△14百万円）、経常利益は1億47百万円（前年同四半期の経常利益は△1億84百万円）、四半期純利益は1億73百万円（前年同四半期の四半期純利益は△2億71百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比19億5百万円増加し、151億60百万円となりました。増減の内訳は流動資産が18億85百万円増加いたしました。その主な要因は現金及び預金が12億96百万円、受取手形及び売掛金が7億49百万円それぞれ増加いたしました。商品及び製品が94百万円減少、原材料及び貯蔵品が25百万円増加したことによります。また、固定資産が19百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末比13億円減少し、93億25百万円となりました。増減の内訳は流動負債が12億91百万円減少いたしました。その主な要因は支払手形及び買掛金が8億33百万円増加いたしました。短期借入金が19億60百万円、1年内返済予定の長期借入金が23百万円それぞれ減少したことによります。また、固定負債は8百万円減少いたしました。

純資産は、前連結会計年度末比32億5百万円増加し、58億35百万円となりました。この結果、当第1四半期の自己資本比率は38.1%となり、前連結会計年度末比18.7ポイント増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年12月9日公表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理
採用した簡便な会計処理のうち、重要なものはありません。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,572,983	1,276,174
受取手形及び売掛金	4,067,484	3,317,883
商品及び製品	195,856	289,966
仕掛品	7,496	26,075
原材料及び貯蔵品	348,340	323,158
繰延税金資産	421	158
その他	177,319	253,137
貸倒引当金	△21,838	△24,333
流動資産合計	7,348,062	5,462,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,144,170	5,159,565
減価償却累計額	△1,542,381	△1,499,383
減損損失累計額	△314,839	△324,903
建物及び構築物(純額)	3,286,950	3,335,278
機械装置及び運搬具	3,233,085	3,261,916
減価償却累計額	△2,557,519	△2,542,593
減損損失累計額	△194,014	△206,498
機械装置及び運搬具(純額)	481,551	512,824
土地	1,729,525	1,729,525
建設仮勘定	654	52
その他	352,795	347,931
減価償却累計額	△222,451	△212,555
減損損失累計額	△18,028	△18,122
その他(純額)	112,970	117,305
有形固定資産合計	5,610,997	5,694,933
無形固定資産		
その他	93,313	100,283
無形固定資産合計	93,313	100,283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,154,432	1,077,536
破産更生債権等	4,073,956	3,987,586
繰延税金資産	105,820	105,820
その他	480,628	533,251
貸倒引当金	△3,706,214	△3,706,235
投資その他の資産合計	2,108,622	1,997,958
固定資産合計	7,812,933	7,793,175
資産合計	15,160,996	13,255,398

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,635,501	3,802,327
短期借入金	3,576,100	5,536,550
1年内返済予定の長期借入金	58,384	82,276
未払法人税等	12,236	14,996
賞与引当金	35,377	72,974
事業構造改善引当金	58,418	102,900
その他	797,599	853,482
流動負債合計	9,173,618	10,465,506
固定負債		
長期借入金	29,500	29,500
負ののれん	87,675	94,419
その他	34,858	36,296
固定負債合計	152,033	160,216
負債合計	9,325,651	10,625,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,500	2,711,500
資本剰余金	4,403,600	2,898,600
利益剰余金	△2,759,070	△2,935,270
自己株式	△38,431	△38,282
株主資本合計	5,822,598	2,636,547
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,518	△30,247
為替換算調整勘定	△54,224	△35,348
評価・換算差額等合計	△39,706	△65,596
少数株主持分	52,451	58,724
純資産合計	5,835,344	2,629,674
負債純資産合計	15,160,996	13,255,398

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,394,297	5,054,247
売上原価	4,400,177	4,083,994
売上総利益	994,120	970,253
販売費及び一般管理費	1,008,867	855,187
営業利益又は営業損失(△)	△14,746	115,065
営業外収益		
受取利息	844	816
受取配当金	1,670	1,202
有価証券運用益	—	447
負ののれん償却額	6,744	6,744
持分法による投資利益	13,677	—
受取家賃	16,194	16,256
デリバティブ評価益	—	54,071
為替差益	—	33,353
その他	5,780	10,653
営業外収益合計	44,910	123,545
営業外費用		
支払利息	29,410	29,278
有価証券運用損	64,808	—
持分法による投資損失	—	778
デリバティブ評価損	87,445	—
支払手数料	—	21,004
株式交付費	—	31,646
その他	33,071	8,484
営業外費用合計	214,735	91,192
経常利益又は経常損失(△)	△184,571	147,418
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	22,946
貸倒引当金戻入額	7,393	1,383
その他	—	1,872
特別利益合計	7,393	26,201
特別損失		
固定資産売却損	—	44
固定資産除却損	21	29
投資有価証券評価損	114,893	—
特別損失合計	114,914	73
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△292,093	173,546
法人税、住民税及び事業税	1,900	1,923
法人税等調整額	△2,104	△262
法人税等合計	△204	1,660
少数株主損失(△)	△20,487	△2,038
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△271,401	173,923

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年12月25日付で、UCC上島珈琲株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が1,505,000千円、資本準備金が1,505,000千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が4,216,500千円、資本準備金は4,403,600千円となっております。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

当社は、平成21年12月22日開催の定時株主総会決議に基づき、平成22年2月1日（債権者保護手続の完了による効力発生日）に、次のとおり資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分を行いました。

(1) 資本準備金及び利益準備金の額の減少の目的

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、利益準備金の額を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、今後の柔軟かつ機動的な資本政策に備えるものであります。

(2) 減少した資本準備金及び利益準備金の額

資本準備金	4,403,600,000円のうち3,893,200,000円
利益準備金	156,800,000円の全額

(3) 増加したその他資本剰余金及び繰越利益剰余金の額

その他資本剰余金	3,893,200,000円
繰越利益剰余金	156,800,000円

(4) 剰余金の処分に関する事項

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部及び別途積立金全額を当期の繰越利益剰余金に振り替え、欠損補填いたしました。

①減少したその他資本剰余金及び別途積立金の額

その他資本剰余金	3,893,200,000円のうち3,382,800,672円
別途積立金	174,000,000円の全額

②増加した繰越利益剰余金の額

繰越利益剰余金	3,556,800,672円
---------	----------------

(5) 減額の日程

①取締役会決議日	平成21年11月17日
②定時株主総会決議日	平成21年12月22日
③債権者異議申述公告	平成21年12月24日
④債権者異議申述最終期日	平成22年1月29日
⑤減額の効力発生日	平成22年2月1日